

おかげさまで、このような活動ができました！

2026年1月～2026年3月

取扱食品量

104 トン

団体向け支援事業における
支援団体
(延べ数)

406 団体

個人向け支援事業における
個人支援世帯
(延べ数)

9,202 世帯

パントリー*開催

3 回

寄贈元
(延べ数 企業、団体、個人含む)

163 件

松阪出張所・
北名古屋市役所での
対面支援世帯数

523 世帯

*パントリーとは団体向けの食品配布活動のこと



団体向け支援事業

- 1月 2026新年はいわしで健康パントリー (薄焼きイワシ、バームクーヘン、おかし等)
- 1月 全員集合！いわしでカルシウムパントリー (薄焼きイワシ、野菜、プリン、等)
- 3月 春間近！ホワイトデーパントリー (お菓子、お茶、防災食セット、紙パックジュース等)

個人向け支援事業

- 1月～ aiちゃんsmileセット (ひとり親家庭など 宅配支援プロジェクト)
- 2月 aiちゃんsmileセット (あしなが育英会の奨学高校生を対象とした 宅配支援プロジェクト)
- 1月～ aiちゃんおたすけパック (アルファ米を使用した 宅配支援プロジェクト)



ありがとうのお声 ※写真はイメージです。

今回のように家に届けていただくと、私のように重度障害を抱えた夫がいて、子供もいて、仕事してと忙しい者にはたいへんありがたいです。温かい気持ちになります。ありがとうございます。



(愛知県 48歳 女性)

配達にしてくれると車がない私にはとてもありがたいです。本当に困った人は車すら持つこともできないのだけどなーと感じながら他のフードバンク支援等を見えています。



(愛知県 44歳 女性)

お問い合わせ：

0568-65-6650 または検索

フードバンク愛知



お問合せフォーム



ご寄付はコチラ

ふれあい
2026/9号



ふれあい

THANK YOU REPORT



スポーツチームとの協同活動

9

2026年3月24日発行

2026年1月～3月の活動をご紹介します



発行：認定特定非営利活動法人フードバンク愛知

T 481-0011

愛知県北名古屋市高田寺砂場18番地

https://foodbank-aichi.org/ 0568-65-6650



認定特定非営利活動法人

フードバンク愛知

Food Bank Aichi とうかいフードバンクネットワーク加盟団体

NEWS

フードバンク愛知はとうかいフードバンクネットワークに加盟



これまで通り団体としての体制や活動方針に変更はなく、引き続き地域に根ざした支援を大切にしております。そのうえで、ネットワークとの連携を通じて、支援の輪を一層広げていきたいと考えております。地域や団体同士のつながりを深めることで、それぞれの強みを活かし合い、これまで以上に活動の幅を広げていくことができると考え、加盟を決定いたしました。今後も関係団体との連携を強化しながら、より多くの方々へ必要な支援を届けられるよう努めてまいります。皆様には引き続きのご支援を心よりお願い申し上げます。

フードバンク愛知 理事長 宮尾 久子

Topix

入れ替え備蓄品を支援へ、食品ロスと支援をつなぐ取り組み

備えを、させえに。

フードバンク愛知ではこれまで、防災食を日常食として活用する支援モデルを推進してまいりました。近年、物価高騰や収入減少の影響により、食の不安を抱えるご家庭は増加しています。一方で、災害に備えて備蓄された食品が、更新期限を迎えたまま活用されず廃棄されている現状もあります。

当団体では、この二つの課題をつなぎ、備えを無駄にすることなく、今まさに必要とするご家庭へ届ける取り組みを開始しました。企業等で入れ替え時期を迎えた防災備蓄食品（アルファ米やレトルト食品等）を有効活用し、困窮家庭へ宅配型で支援を行っています。これにより、食品ロス削減と生活支援の両立を実現しています。

また本取り組みは、対面での受け取りに不安を感じる方や、外出が困難な方にも支援を届けられる点が特徴です。小さなお子さんを抱えるご家庭や、体調面・環境面で制約のある方にとって、安心して利用できる仕組みとなっています。

宅配支援は、「取りに来られる人」だけでなく、本当に支援を必要とする方へ確実に届けるための新たなかたちとして、今後も継続的に展開してまいります。今後とも本取り組みへのご理解と、さまざまな形でのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



Youtube動画でも本取り組みについて発信しています。ぜひご覧ください。

Event

スポーツの力で、支援の輪を広げるフードドライブ



私たちは地域のスポーツチームであるBリーグシーホース三河（バスケットボールチーム）とHリーグ大同特殊鋼フェニックス（ハンドボールチーム）の試合会場にて、フードドライブを実施いたしました。

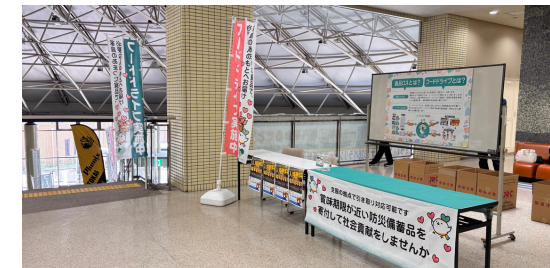
多くの来場者でにぎわう会場という特性を活かし、観戦に訪れた皆さまへ食品寄附の呼びかけを行いました。シーホース三河の会場では、協働企業の日本生命さまのご協力やファンの皆さまの温かいご協力により、314kgもの食品が集まりました。多くの想いが集まり、地域の支援へとつながる大きな成果となりました。

大同特殊鋼フェニックスの会場でも継続して取り組みを実施しており、今回は9kgの食品をお寄せいただきました。

結果としては差が見られるものの、会場の特性や周知方法などにより参加状況が異なることも、継続的な活動の中で見えてきた大切な気づきです。



スポーツと地域、そして支援がつながるこの取り組みを、今後も継続してまいります。



Volunteer

支援セット箱詰めボランティアにご参加いただきました

子ども食堂関係者の皆さまや一般ボランティアの皆さまにお集まりいただき、宅配支援セットの箱詰め作業を実施しました。

たくさんの方々のご協力のおかげで、2026年3月は合計4,066セットを無事に発送することができました。箱の一つひとつに詰められた想いが、支援を必要とされる方々へ届いています。

ご協力いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。



食品配送費・光熱費・倉庫費などのサポートをお願いできると助かります

フードバンクの活動には、配送のためのガソリン代、保管のための光熱費・倉庫費用が毎月かかっています。

活動の継続のために、カンパをいただくと大変助かります。月ごと・年ごとで自動的に引き落としとなる継続的なご寄付も募集しています。

